

## 第1学年国語科学習指導案

日時 平成23年11月16日(水) 5校時  
場所 1年教室  
児童 1年 男4名 計4名  
授業者 昆野 智美

### 1 単元名 くらべてよもう

教材名 じどう車くらべ(光村図書1年下)

### 2 単元について

#### (1) 教材について

第1学年の「C読むこと」における目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げながら読む能力を身につけさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。

この単元における「読むこと」の指導事項は「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」と「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」である。

教材は、「みいつけた」と同様「問い+答え+答え+答え」という列挙型の構成になっている説明文である。「どんな仕事をするのか」、そのために「どんなつくりになっているのか」という具合に、問いが二つあるため、二つの段落に分けて書かれている明確な構成である。仕事とつくりを表に書き抜いて整理することで、二つの関係性をいっそうはっきりと理解することができる。写真や絵を手がかりに、「仕事」と「つくり」を考えて、説明の文章を書く言語活動を行いながら、「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」を確実に身につけさせたい。

#### (2) 児童について

児童は、1学期に「なぞなぞあそび」で「問いをもつこと」を、「くちばし」で「問いをもち、それに答えること」を、「みいつけた」で「一つの問いをもち、それに対する3つの答えを読み取ること」を学習した。

「問い」の文と「答え」の文の違いは、理解できており、生きものの見つけ方を説明する文章も喜んで書くことができた。しかし、説明する内容は決まっても、語彙が少ないためにそれを文章の形にする活動で少し苦勞する様子が見られた。

全体的になかなか集中できない、人前で話したがるなど、活動の仕方にむらが見られる。また、生活経験が不足気味の児童が多いので、経験を積極的に話せる児童の発言を広げていくなど、それぞれのよさを生かし、意欲をもたせる工夫をしながら、学習を進めていきたい。

#### (3) 指導にあたって

第一次では、さし絵を見たり、生活科での体験を思い出させ、自動車には、いろいろな種類があるということに関心をもたせたい。また、「自動車図鑑をつくっておうちの人に教えよう」という見通しをしっかりとさせること、それを使って参観日でお家の人と自動車クイズ大会をすることを知らせ、相手意識をもたせることで、自動車図鑑作りへの意欲を高めたい。

第二次では、「しごと」と「つくり」について表に書き抜いて整理しながら読み進めたい。その際、文面には表れていない「仕事のためのつくり」を絵から読み取る活動も入れたい。また、書き抜いた表をもとに文章を再構成して自動車図鑑を作っていく、三次の活動につなげたい。

第三次では、「興味のある自動車について図書で調べて自動車図鑑を作る」言語活動を行う。図書の丸写しにならないよう、第二次で学習した、使った表に必要なことを書き抜くこと、文章の型式を生かすなどに留意しながら、第二次の学習を活用する活動としていきたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

・自動車についての説明文や絵本・図鑑を読もうとすることができる。

#### (2) 読むこと

・何と何(「しごと」と「つくり」)が書かれていることを理解することができる。

・文章の中から必要な部分を書き抜くことができる。

・調べるために本を選んで読むことができる。

#### (3) 書くこと

・教科書のモデル文にならない、「そのために」を使って「しごと」と「つくり」を関連させて書くことができ

る。

- (4) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
教科書に提示された片仮名を正しく書くことができる。

4 単元の評価規準

- (1) 国語への関心・意欲・態度  
・自動車についての説明文や絵本・図鑑を読もうとしている。
- (2) 読むこと  
・何と何(「しごと」と「つくり」)が書かれていることを理解している。(1)イ  
・文章の中から必要な部分を書き抜いている。(1)エ  
・調べるために本を選んで読んでいる(1)カ
- (3) 書くこと  
・教科書のモデル文にならい、「そのために」を使って「しごと」と「つくり」を関連させて書いている。(1)イ・ウ
- (4) 言語についての知識・理解・技能  
・教科書に提示された片仮名を正しく書いている。(1)ウ(ア)

5 単元の指導計画と評価規準

教材名 じどう車くらべ (12時間)

次	時	学習活動	評価規準
一	1	<p>○どんな自動車があるか話し合う。</p> <p>○教師の範読を聞き、分かったことなどを発表する。</p> <p>○自動車図鑑を作る見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>じどう車のことをしらべてずかんをつくり、 おうちの人とクイズ大会をしよう。</p> </div> <p>○全員で音読する。</p>	<p><b>関</b> 自動車にはいろいろな種類があることに関心を持ち、どのような図鑑を作るかを考えようとしている。(発言・観察)</p> <p><b>読</b> どんな自動車がどのような順序で書かれているか理解している。(発言・ノート)</p>
二	2	<p>○バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を確かめる。</p> <p>○バスと乗用車の自動車図鑑を作る。</p>	<p><b>読</b> 叙述をもとに、自動車には、「しごと」と「つくり」があることに気づいている。(ノート)</p>
	3	<p>○トラックの「しごと」と「つくり」を確かめる。</p> <p>○トラックの自動車図鑑を作る。</p>	<p><b>読</b> それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を書き抜いている。(ノート)</p>
	4	<p>○クレーン車の「しごと」と「つくり」を確かめる。</p> <p>○クレーン車の自動車図鑑を作る。</p>	<p><b>言</b> 教材文に出てくる片仮名を正しく書いている。(ワークシート)</p>
	5 本時	<p>○はしご車の「しごと」と「つくり」を皆で考える。</p> <p>○教材文の文型を活用して、はしご車の自動車図鑑を作る。</p>	
三	6	○絵本や図鑑を読み、書きたい自動車を選ぶ。	<p><b>書</b> 何と何を書けばいいのかを理解して書いている。「自動車図鑑」</p> <p><b>言</b> 主語と述語の関係を正しく理解している。「自動車図鑑」</p>
	7・8	<p>○書きたい自動車の「しごと」と「つくり」をカードに書く。</p> <p>○下書きする。</p>	
	9・10	○下書きを清書し、自動車図鑑を完成させる。	
	11	○図鑑の文章を使ってクイズ大会の練習をする。	
	12	<p>○自動車クイズ大会をする。</p> <p>○クイズ大会の感想を書く。</p>	

6 本時の指導

(1) 目標 はしご車の「しごと」と「つくり」とをたずね、はしご車の自動車図鑑を作ることができる。

(2) 評価規準

十分満足できる	概ね満足できる	努力を要する児童への支援
はしご車の「しごと」とそのための「つくり」がわかり、説明することができる。	はしご車の「しごと」とそのための「つくり」を理解することができる。	友だちの発言やこれまでの学習を手がかりにさせる。

(3) 展開

	学習活動（発問○）	指導上の留意点
導入 7分	<p>1 課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの学習を想起し本時課題を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     はしご車のしごととつくりをしらべてじどう車 ずかんをつくらう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>答えの文がないことに気づかせる。</li> </ul>
展開 25分	<p>2 課題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はしご車の挿絵を見て、はしご車のつくりを調べる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>はしご車の仕事を資料で調べる。</li> <li>仕事とつくりを表にまとめる。</li> <li>書き抜いたメモをもとにして、はしご車を説明する文章を書く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     まとめの例                      はしご車は、たかいところにとりのこされた人をたすけるしごとをしています。そのために、ながくてじょうぶなはしごがついています。はしごのうえに人がのれるようになっています。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長いはしごがついている。</li> <li>はしごがのびたり縮んだりする。</li> <li>人が乗れるかごがついている。</li> <li>じょうぶなあしががついている。</li> <li>資料を準備する。</li> <li>高いところに取り残された人を助ける。</li> <li>高いところに取り残された人を助けるためのつくりがかけられるようにする。</li> <li>「しごと」と「つくり」を「そのために」でつなげる。</li> </ul>
まとめ 13分	<p>3 学習のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はしご車の文を発表する。</li> <li>次の時間の学習内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのよさを認めながら聞かせる。</li> </ul>

(4) 板書計画

	つくり	しごと	挿絵		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ながいはしごがついている。</li> <li>はしごがのびたり縮んだりする。</li> <li>じょうぶなあしががついている。</li> <li>はしごのうえに人がのれるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たかいところにいる人をたすける。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 80px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     かい                      はしご車のしごととつくりをしらべてじどう車ずかんをつくらう。                 </div>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     そのために                 </div>		（木にとまっている）		

観察シート（1年「じどう車くらべ」）

- 1 目指す児童像
  - ・説明に必要な要素を資料から探して書き抜き、それをもとにして説明することができる。
- 2 身につけたい読解力
  - ・教材文以外の文章からも必要なことを抜き出すことができる。
- 3 学習用語（指導事項）
  - ・文 ・文章 ・接続語「そのために」を使い、脈絡の通った説明文を書くことができる。
- 4 学習展開の工夫
  - ・自発的に活動できるよう、目的に沿った調べ活動をするための見通しのもち方（資料の選び方・書き抜き方）を学習する。
- 5 発問

発問の意図	具体的な発問・説明・指示	授業の様子
<ul style="list-style-type: none"> <li>・はしご車の挿絵を見てはしご車のつくりを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はしご車は、どんなつくりになっていますか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・はしご車の仕事とつくりを関連づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高いところに取り残された人を助けるためのつくりはどれでしょう。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・はしご車の仕事とつくりを「そのために」でつないで文章を書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表に書いたことをつないで、はしご車を説明する文章を書きましょう。</li> </ul>	

6 その他（反省的実践に基づいた授業全般について）

